

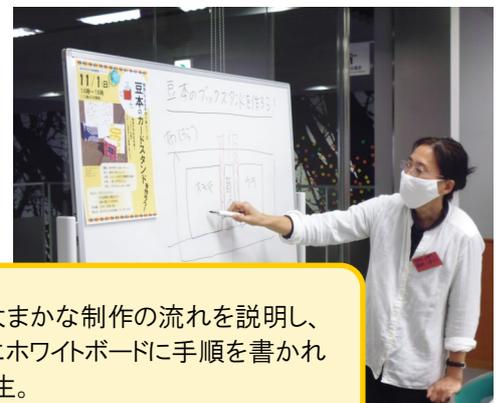
2020年11月1日(日) 簡単にできる手作り本 「豆本のカードスタンドを作ろう！」開催報告

装幀家・デザイナーの津村明子先生と、創作工芸リユールの方々のご協力で開催している創作本ワークショップです。

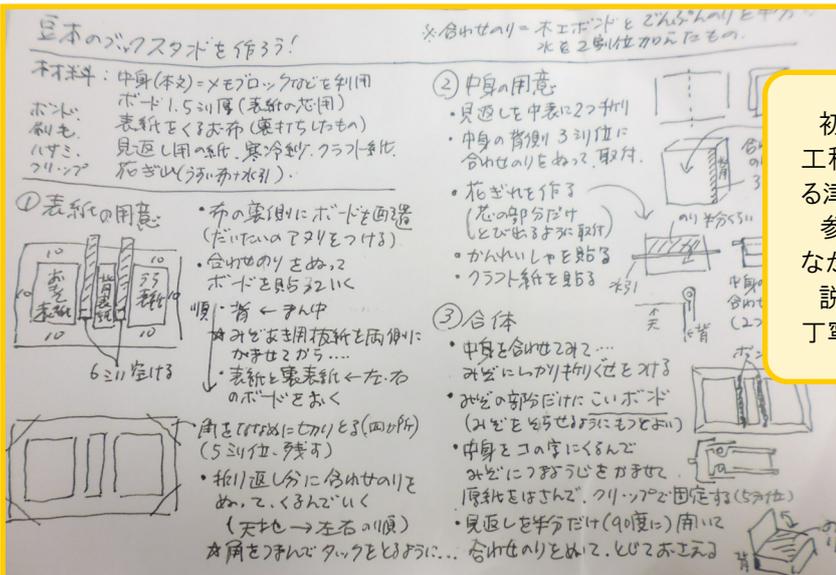
ご朱印帳、革の手帳など、毎年趣向を凝らした造本に挑戦してきましたが、今回はカードスタンドにもなる、かわいい豆本を作りました。



今回は感染症対策の為、参加者は例年の半数の12名。広めにとられた作業スペースに、換気、消毒の徹底を行い、安全に配慮された中で開催しました。



初めに大まかな制作の流れを説明し、工程ごとにホワイトボードに手順を書かれる津村先生。参加者は配布されている手順書を見ながら説明を聞きます。説明後は、先生がそれぞれの机を回り丁寧な実演を交えて指導されました。



制作の手順書です。

最初の作業は表紙部分の制作です。おもて表紙、背表紙、裏表紙の間隔を、正確に6ミリとることが重要。あらかじめ6ミリ幅の茶色い用紙が用意されているのでとても簡単！厚紙を包む布部分の糊付けでは、真ん中の二つの溝に接着剤をつけてはいけません。注意！



布で厚紙をくるみます。まず、表紙部分の完成です！

用意された道具と材料の一式です。





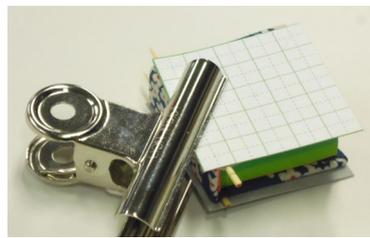
続いての作業は、豆本の中身部分の作成です。見返し部分の黄色い用紙を、本体のブロックメモに貼りつけます。接着材を3ミリほど塗り、しっかりと固定します。



接着には、寒冷紗という特殊な用紙を使用します。寒冷紗とクラフト紙を合わせて、花布部分に取り付けることで、背を補強します。



花布部分を本体に取り付けます。

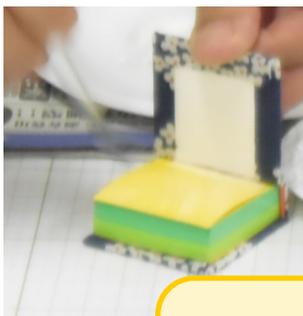


中身の取り付けの前に、表紙の方にしっかりと折れ目をつけるのが重要。見返しの部分はおもて表紙側、裏表紙側のみ糊をつけ、背表紙には付けない、という注意点もあります。



表紙の糊付けせずにあけておいた溝の部分に濃い接着剤を塗り、本体と合体させます。

使われている接着材は、ボンドと糊を混ぜたものです。



爪楊枝を溝の部分にかませます。しっかりと糊付けが固定するように、表紙の上に厚紙を敷いてクリップで留めます。見返し部分の糊付け作業の前に、5分ほどこの状態で固定し、形を整えます。

見返しを半分だけ開いて、表紙に糊付けしたら完成です！
完成した豆本は、切手やシールなどで楽しく飾り付けすることもできます。



先生と創作工芸ルリユールの皆さんの丁寧な指導で、素敵な豆本を手にしたことが出来ました。
ご参加ありがとうございました！

